

新特産品コンクールの入賞商品を紹介しながら「本物。」の魅力を伝えます。

特産品探訪

薩摩黒切子 鏡

2008かごしまの新特産品コンクール
(社)鹿児島県特産品協会理事長賞



漆黒のきらめきが見る人を魅了する薩摩黒切子。

指先の感覚に気持ちを集中させ、石かけの作業を行う中居 政允さん。

「日常のひとつときを特別な時間にとの思いからつくられた『薩摩黒切子鏡』。この作品に指先の感覚と勘を頼りに繊細なカット模様を施した薩摩切子のカット職人、中居 政允さんにお話を伺いました。」

高知県ご出身とのことですが、薩摩切子の道に入ったきっかけは？

大学でガラスを勉強していた時に切子を知りました。なかでも薩摩切子の色、ぼかし(グラデーショナル)の美しさに魅了され、薩摩切子の職人になろうと鹿児島に来ました。この道に入つて6年目になります。

薩摩切子はどのようにつくられるのですか？

各工程ごとに担当の職人が作業を行います。ガラスを溶かすことから始まり、色被せ、成形、ガラスを冷やすまでが「吹き」の作業。『薩摩黒切子鏡』は、由吹きという方法で、型を使わず職人の熟練した技で形を整えます。

次に、口や底の部分を削つて商品サイズに大きさを整えた生地の上に、カット模様を施すのが「カット」の作業です。まず生地に大まかなカットの目安となる線を引き、ダイヤモンド・ホイールという道具で線を彫り込みます。その後「石かけ」の作業で細かくきれいに削り、緻密な模様をつくりあげるので、細かいカットは目安の線がなく、それぞれ自分の感覚で削っていきます。二つつのカットにとても集中します。

最後に、ゴム盤・木盤・毛ブラシ・パフという道具を使った「磨き」の作業で、ペーパースト状にした磨き砂をつけて丁寧に磨き上げます。この磨きの作業で、カット面の細かい傷がとれ、美しい艶が出ます。

「薩摩黒切子鏡」は黒の美しい艶に重みのある落ち着いた雰囲気がある素敵ですね。ありがとうございます。薩摩切子で鏡をつくるというのは後輩のアイデアです。



薩摩黒切子 鏡：税込42,000円(直径220mm×厚さ30mm)

薩摩びーどろ工芸株式会社
〒895-2203 薩摩郡さつま町永野5665-5
電話0996-58-0141

作品づくりで大切にしていることは何ですか？

丁寧にやることです。商品はお客様に愛用いただく物ですから、どんな小さなカットにしても、二つ二つ丁寧に、きれいに仕上げることを心がけています。これからは、従来の薩摩切子のイメージを崩さないようにしながら、新しい作品をつくっていきたく考えています。

中居さんの手で丁寧に彫られた薩摩黒切子は、繊細で美しく輝き、力強さも感じられます。今後ますます心の込められた素晴らしい作品が生み出されることを期待されます。

さつま町ガラス工芸館と、まほろばの里「がらすの館」では、さまざまなかごしま工芸体験ができます。なかでも、ここでしかできない薩摩切子のカット体験がおすすです。自分だけのガラス作品を作ってみませんか。

Presents
プレゼントコーナー

とんぼ玉携帯ストラップを3名様にプレゼント。

応募締切/平成21年8月31日(月)

応募方法/ハガキ、FAXまたは電子メールに

- ①「グラフ かごしま」に関するご意見・ご感想、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥職業、⑦電話番号をご記入の上、下記までお送りください。
- はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント」
- FAX 099-286-2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)
- メールアドレス h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用いたしません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

お中元に県産品をどうぞ!

かごしま夏のギフトフェア

平成21年8月中旬まで

県内の特産品の問い合わせ、ご利用は

鹿児島ブランドショップへ

鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館
☎099-225-6120 FAX099-223-0755

●定休日 年末・年始 ●営業時間 午前9時～午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル3F

☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172

ホームページURL <http://www.k-p-a.jp>

